

【2018 年度 シラバス】

時間割コード		開講区分	春学期
ナンバリングコード※	3B1403	曜日・時間	集中
開講科目名	訪問術 C (フィールド交流実践論)	単位数	2
担当教員		年次	全研究科、学部 3 年以上の全学生、社会人 (若干名))
講義題目	お遍路コミュニケーション		
開講言語	日本語		
授業の目的	<p>お遍路は、四国八十八ヶ所巡礼と呼ばれ、世界最長の循環型巡礼であり、宗教側面のみならず、若者、高齢者が、自分を見つめるために経験、挑戦している。全体を通して歩くと 50 日ほどかかるが、今回は 4 日分「区切り遍路 (高知県高知市一高知県四万十町)」を体感コミュニケーションとして実践する。本授業では、多様な専攻の学生が、お遍路のお接待や景観、人と人、人と風土との出会いから、歴史文化遺産の道を歩くことで得られるコミュニケーションについて、訪問術 (異分野、異領域に出て相互理解、発見を獲得する能力) として学ぶことを目的とする。</p>		
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ・身体を使った現場訪問の体験、そのふりかえりにより、現場力とコミュニケーション力を向上させる。 ・お遍路体験による現場力とコミュニケーション力を、自己の研究生活、日常生活、市民生活のなかで活かす態度を身につける。 ・訪問で得られた成果・経験を、カフェで多くの人に提供し、共有する態度を身につける。 		
履修条件・受講条件 ※	<p>JEES 学生教育研究傷害保険 の加入を必須とする</p> <p>お遍路の体感的なコミュニケーションデザインの体験に関心のある院生の受講を歓迎する。体力に自身がない、課題を抱えている学生も歓迎する。経験を重視するため受講人数に限りがあり、第 1 回での動機等の対話を考慮して決定し、即日通知する。決定者は移動手段の確保をする。連休は高速バスの予約が難しい場合がある。</p>		
授業計画	<p>第 1 回： 4/10 第 6 限 (豊中 CSCD424)</p> <p style="padding-left: 2em;">4/17 オリエンテーション (吹田工学 P1-211) 事後参加者を決定する。</p> <p>第 2 回： 4/26 第 6 限 (豊中 CSCD424) 四国遍路とお接待の歴史と意味、訪問術の共有化。</p> <p>第 3-13 回： 5/3 高知市はりまや橋 13:00 ⇒ 文殊通 ⇒ 竹林寺札所 ⇒ 禅師峯寺札所 ⇒ 種崎渡船 ⇒ 雪蹊寺札所 (約 15.3 km)</p>		

	<p>(高知屋 088-841-3074 : 1泊2食 6500円)</p> <p>5/4 高知屋 6:00 ⇒ 種間寺札所 ⇒ 青龍寺札所 ⇒ 18:00 須崎 約 46.6 km 高知屋 7:30 ⇒ 種間寺札所 ⇒ 青龍寺札所 ⇒ 17:00 須崎 約 34.6 km 高知屋 7:30 ⇒ 種間寺札所 ⇒ 青龍寺札所 (約 19.2 km) 竜バス停 13:36 ⇒ 14:21 JR 伊野 14:53 ⇒ 15:42 須崎 (300+660円) (くらすさき 050-8808-6388 : 素泊シャワー [$4000+(n-1)*2000$] /n] 円)</p> <p>5/5 くらすさき ⇒ 道の駅 ⇒ 岩本寺札所 (約 31.3 km)</p> <p>(宿坊 0880-22-0376 : 1泊2食 6500円)</p> <p>5/6 岩本寺 ⇒ 歩き残した場所、見残した場所 (四万十川など)</p>
	第14回 : 5/8 授業 (ふりかえりとプレゼン分担)
	第15回 : 5/15 授業 (プレゼン、ビデオ作成)
授業外における学習	曾根崎まちみちカフェでのプレゼン・ビデオの準備をし対話を行う。
教科書・参考資料 ※	『お遍路とコミュニケーション』2015年 第2回で無償配布予定
参考文献 ※	中山和久『巡礼遍路がわかる事典』日本実業出版社、辰濃和男『四国遍路』岩波書店、司馬遼太郎『空海の風景』
成績評価	授業への参加 70%、お遍路カフェでの話題提供・準備 30% ・特記……教室授業の欠席は、できるかぎり通信、補講等でサポートする。
キーワード ※	お遍路、歩き、コミュニケーション、